

議会だより第83号

令和8年第2回定例会が開催されました

第2回定例会

第2回定例会が6月2日から6月19日までの18日間の会期で開催されました。

この定例会では、市長から提出された令和8年度いすみ市一般会計補正予算（第1号）ほか7議案及び人権擁護委員候補者の推薦が審議され、採決の結果、いずれも原案のとおり承認、可決、同意されました。

また、議会に寄せられた請願第1号及び請願第2号については、採択し、国会等への意見書が可決され、関係機関へ送付しました。

主な議決内容

○令和8年度いすみ市一般会計補正予算は、1億6869万3千円を追加し、総額192億8669万3千円とすることは全会一致で可決されました。

○人権擁護委員候補者に桑門亮明氏、渡邊康志氏、田邊仁子氏を推薦することに全会一致で同意されました。

令和8年第2回定例会の議決結果

議案番号	件 名	採決結果
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて	承認
議案第2号	いすみ市公告式条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第3号	いすみ市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第4号	いすみ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第5号	いすみ市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第6号	いすみ市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第7号	令和8年度いすみ市一般会計補正予算（第1号）	可決
議案第8号	いすみ市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について（桑門亮明氏）	同意
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について（渡邊康志氏）	同意
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について（田邊仁子氏）	同意
請願第1号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採択
請願第2号	「国における2027年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採択
発議第1号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	可決
発議第2号	国における2027年度教育予算拡充に関する意見書について	可決

委員会

審査

報告

6月10日及び11日に各常任委員会が開催され、委員会付託された議案及び請願を審査しました。

ここでは、令和8年度いすみ市一般会計補正予算における主な質疑及び答弁について掲載します。

総務常任委員会

問 一般コミュニティ助成事業の伝統文化の継承に對しての備品購入とは具体的にどのようなものなのか。

答 宝くじ助成事業で採択された行政区から要望のあった、おはやしで使用する、獅子舞などの備品や衣装などです。

文教厚生常任委員会

問 岬ふれあい会館自家発電設備改修工事の内容について伺いたい。

答 自家発電機のバッテリー12台の交換を含む修繕となります。

産業建設常任委員会

問 食育推進委員の構成及び第1期食育計画の結果について伺いたい。

答 委員数は14名で、市職員を除く10名分の報償費を予算化しました。委員構成の内訳は、農業や漁業、商工団体に関する団体、食生活改善団体、食育の推進に関する団体、学校給食関係の団体です。また、第1期食育計画については、今後、小中学校の児童生徒及び保護者に対してアンケート調査を行い、結果を集計後、計画の検証を行い、検証結果を基に第2期食育計画に反映させ策定する予定です。

Q&A

一般質問

市政をきく

こちらの二次元コードからも会議録検索・閲覧ができます



第2回定例会の一般質問は、6月4日に8名の議員から市政に関する諸問題についての質問があり、活発な議論が展開されました。ここでは、主な質問及び答弁の一部を掲載します。

なお、一般質問及び議案審議状況等の会議録をご覧になりたい方は、市のホームページ、いすみ市図書館又は夷隅文化会館及び岬公民館の各図書室で閲覧することができます。(第2回定例会の会議録は9月上旬に公開を予定しています。)

黒須美智雄 議員	プラスチック資源の分別／財政と将来世代への投資
せんだ雄太 議員	薬剤師の専門性と独立性を活かした高齢者の健康支援体制
元吉栄一 議員	津波対策
井上ひろみ 議員	物価高騰から市民の命と暮らしを守る施策／多文化共生
山口朋子 議員	プラスチックごみ分別に伴う市の行政運営／学校の防火シャッターの安心安全
峰島正広 議員	公共施設のバリアフリー再整備／自転車安全教育及び広報活動の強化
太田雅彦 議員	小中学校の今後の運営方針／AED設置場所の地図や講習会等の実施状況
田井秀明 議員	中東情勢悪化に伴う医療・福祉資材の備え／市の自治体間連携／麻しん(はしか)対策／入札落札差金の取り扱い

プラスチック資源の分別

黒須美智雄 議員

答

市民の負担軽減につながる収集体制の構築に努めていく。

黒須議員 月1回の収集によつて保管場所やごみ出し

が大きな負担となつている現状をどう把握し、どのような見直しや負担軽減策を検討していくのか伺いたい。

環境保全課長 日頃の問合せやご意見、ご要望、ごみ収集業務の状況等を通じて実態の把握に努めているところがあります。また、現在、プラスチックごみなどの収集回数の見直しに向け、家庭ごみの収集に関するアンケートを実施しているところです。

今後は、市民の方々のご意見やアンケートの結果、収集業務などを総合的に検証しながら、市民の負担軽減につながる収集体制の構築に努めてまいります。

薬剤師の専門性と独立性を活かした高齢者の健康支援体制

せんだ雄太 議員

答

医療と介護を連携して、薬剤師会の意見を聞きながら検討していく。

せんだ議員 在宅訪問薬剤師を活用した高齢者見守り事業への見解を伺いたい。

健康高齢者支援課長 現在、薬剤師会として市内

薬局の一部が高齢者を含む患者様へ訪問相談を実施しております。薬剤師が訪問することで、定期的な安否確認が行われており、市の地域包括ケアシステムの中で重要な役割であると認識しております。

しかし、あくまでも医療の範囲内での連携でありますので、今後は、高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせるように必要に応じて医療と介護を連携して活用するとともに、市が実施している高齢者見守り活動事業などと連携ができるように、薬剤師会

の意見を聞きながら検討していきます。

津波対策

元吉栄一 議員

答

踏切前後の市道部分の詳細設計が完了する見込み。用地測量及び用地交渉に移行する予定。

元吉議員 市は日在地区の津波避難道路の外田踏切と接する部分を拡幅するための測量を行っていたが、進捗状況を伺いたい。

建設課長 外田踏切に通じるカインズ脇の市道3298号線は、津波避難道路整備箇所として位置づけ、計画延長172.7メートルに対し129メートルの整備が完了し、現在外田踏切を含めた43.7メートルが未整備となっております。

市では、令和6年度よりJ・Rと踏切拡幅について協議を重ねており、今年度、市において踏切前後の市道部分の詳細設計が完了する見込みです。今後は、用地測量及び用地交渉に移行する予定です。

また、踏切の拡幅設計については、今後J・Rが実施する予定ですが、詳細な時期は未定です。引き続きJ・Rと踏切拡幅の実施に向けた協議を進めてまいります。

物価高騰から市民の命と暮らしを守る施策

井上ひろみ 議員

答

国・県の動向等を注視しつつ、交付金の有効活用を図るなど、今後も検討し、対応していく。

井上議員 長引く物価高騰で市民生活に及ぼす影響について、どのように考えているのか。また、これまで以上の支援が必要と考えるが、市の見解を伺いたい。

副市長 近年の物価高騰により、市民の皆様の生活が一段と厳しくなっていることにつきましては、市としても重く認識しており、国の交付金を活用して、これまで、様々な支援を行ってきたところです。

今後も食料品や日用品に限らず、生活支援とな

る対策について、国・県の動向等を注視しつつ、交付金の有効活用を図るなど、効果的に対応してまいります。

プラスチックごみ分別に伴う市の行政運営

山口朋子 議員

答

負担軽減につながる支援策を検討していく。

山口議員 高齢者や分別が困難な方への分別啓発や支援策を検討しているか伺いたい。

環境保全課長 高齢者や分別が困難な方への分別啓発につきましましては、今後、できるだけ文字を大きくし、イラストや写真を活用し視認性を高めるなど、より見やすく理解しやすい啓発資料の作成に向け、皆さんのご意見を参考にしながら取り組んでまいります。

また、高齢世帯など分別が困難な世帯への支援策につきましましては、関係課と連絡を図り、本市の実情や支援のニーズの把握に努め、他の自治体の先行事

例を踏まえながら、負担軽減につながる支援策を検討してまいります。

公共施設のバリアフリー再整備

峰島正広 議員

答
必要なバリアフリー環境の整備に取り組んでいく。

峰島議員 点字ブロックと手すりの併設を阻む「技術的壁」があった場合、専門家や施工業者を交え、点字ブロックの移設や自立式手すりの導入など、設置に向けた具体的な検討を行う考えはないか伺いたい。

副市長 点字ブロックと手すりの併設につきまして、施設ごとの設計条件や敷地形状等により、物理的な制約が生じている場合があることは認識をしております。技術的壁があつた場合には自立式手すりの導入や点字ブロックの配置見直しなど、具体的な対応策について検討してまいります。

今後全体的な市民が安心して利用できる、より安全な公共施設となるよう、必要なバリアフリー環境の整備に取り組んでまいります。

心して利用できる、より安全な公共施設となるよう、必要なバリアフリー環境の整備に取り組んでまいります。

小中学校の今後の運営方針

太田雅彦 議員

答
小中学校の在り方を具体的に検討することは喫緊の課題であると認識している。

太田議員 予想される児童数の減少や地域性などから、市立小中学校のあり方について市の考えを伺いたい。

教育長 学校は歴史ある地域文化の拠点であり、防災や交流を支えるコミュニティの核でもあります。地域の実情や保護者、地域の皆様のご意見を丁寧にお聞きしながら、最善の教育環境を整えることが大切であると考えます。本市の教育の振興に関する大綱では、未来を担う子供たちの健やかな成長と有意義な人生の実現を掲げております。

今後全体的な市民が安心して利用できる、より安全な公共施設となるよう、必要なバリアフリー環境の整備に取り組んでまいります。

今後避けられない人口減少と少子化の中で、大綱の理念を具現化するため、より望ましい学習環境の維持向上に向け、市内の小中学校の在り方を具体的に検討することは喫緊の課題であると認識しております。

中東情勢悪化に伴う医療・福祉資材の備え

田井秀明 議員

答
中東情勢の動向を注視しながら、国や県と連携を図っていく。

田井議員 マスク、手袋、感染防護具、医療チューブ類などの供給停止や著しい価格高騰が起きた場合、市としてどのような対応を想定しているのか伺いたい。

健康高齢者支援課長 国は中東情勢の悪化を受け、影響を受ける医薬品、医療機器、医療物資等の確保対策本部を設置しました。対策本部では医療や介護施設との相互の情報共有を実施しております。対応として、医療用手袋

今後全体的な市民が安心して利用できる、より安全な公共施設となるよう、必要なバリアフリー環境の整備に取り組んでまいります。

5千万枚の国の備蓄放出を決めたところです。

また、価格高騰が起きた場合とのことですが、医療、介護、福祉施設については県や市が4月より物価高騰対策を実施しておりますので、その動向を注視してまいります。

市といたしましては、中東情勢による影響等、国レベルの問題については常に最新情報を取得しながら、国や県と連携を図ってまいります。

全国市議会議長会 永年在職議員を表彰

5月27日に開催された全国市議会議長会第102回定期総会において、石川光男議員が特別表彰を受賞しました。

議員在職25年以上

石川光男 議員

議会の傍聴について

議会の傍聴は、市役所大原庁舎4階議会事務局で受け付けています。

第3回定例会日程(予定)

8月25日(火) 10時	開会
27日(木) 10時	議案の上程
9月1日(火) 10時	議案審議
2日(水) 9時	常任委員会
3日(木) 9時	常任委員会
7日(月) 9時	決算委員会
8日(火) 9時	決算委員会
18日(金) 10時	委員長報告 議案審議 閉会

編集 議会だより編集委員会
TEL 0470-62-1406

こちらの二次元コードからも、いすみ市議会のホームページを閲覧できます

